# Low-alpha 0.3 a Progress

Hiroshi Ito 2017.12.05



Energy resolution  $\sim 10\%$ ,

4.87

130

Mean RMS x RMS y

Integra



サンプルデータ; Fiducial cut, Nhit≥4, time cut



3

#### 2017年12月4日



差分スペクトラム





### 現状

- counts/cm2 hrの残差スペクトラムかけた
- G4 Pre Geometry 完成
- fidutial cut eff, energy分解能つけてalpha/cm2 hrスペクトラムに換算する
- detector efficiency がsimuとexpをどう比較しようか?
- 最終的に、スペクトラムからalpha個数に変換

#### 2017年12月4日

## BG run解析



## 91時間で5 Torr.上昇





理論曲線に乗ってる Calfacはあってそう

現状

10<sup>-1</sup>

ch1

-2.

1000

800

600

400

200

0

- BG runからuPICの測定限界を見積もる
- ・ 鋭いピークの由来を探り除去する
- anode Vのbestを探す?
- 気圧上昇が気になる
- 高抵抗サンプルrunでもスパークが見えて
  るから、除去条件探して再度解析する









edge4









